損保ジャパン記念財団 NEWs

SOMPO JAPAN FOUNDATION

記念財団では、現在ホームページをリニューアル中です。左記の新URLから見やすくなった新ホームページをご覧になることができます。

発行者
財団法人損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル37階
TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
http://www.sj-foundation.org/
Eメール：sjf3340@sj-foundation.org

去る3月25日、平成20年度第2回通常理事会・評議員会が開催されました

第2回通常理事会・評議員会では、
・平成20年度の事業経過報告
・平成21年度の事業計画及び収支予算
・任期満了に伴う理事・評議員・監事・顧問の選任、
・任期満了に伴う選考委員及び審査委員の選任が全会一致で議決されました。
平成21年度は、障がい者福祉を目的とした助成と共に、福祉マネジメント人材の養成を目的とした新たな研究会「福祉マネジメント研究会」を新規事業としてスタートすることが決定しました。これにより、人材育成の面でも当財団は、我が国の障がい者福祉の一層の充実に貢献していきたいと考えております。
事業報告・事業計画の詳細は次ページ以降を参照願います。

2009 Vol.1
SOMPO JAPAN FOUNDATION NEWS

「平成２０年度事業経過報告」

1. 社会福祉事業

（１）ＮＰＯ法人設立資金助成

ＮＰＯ法人設立資金助成は１０年目を迎え、全国から８２件(前年度１１２件)の申し込みを受け付け、6月１７日開催の選考委員会で、４６団体に対し各３０万円、総額1，３８０万円の助成を決定しました。贈呈式は、首都圏地区について7月２９日に損保ジャパン本社ビル４３階において開催しました。

（２）NPO組織強化資金助成

①ＮＰＯ基盤強化資金助成

前年度に引き続き、福祉系ＮＰＯ団体の「基盤強化資金助成」の事業を実施し、当財団の平成１１年度から１８年度の助成先５３０団体を対象に募集案内を郵送し、全国３０都道府県から９４件の応募を受け付けました。１２月８日開催の選考委員会において、助成先１１団体総額９５７万円の助成を決定しました。助成先は別紙を参照下さい。

②株式会社損害保険ジャパンの社員有志による

「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」指定の寄付

株式会社損害保険ジャパンの社員有志の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」指定の寄付として、平成２０年１１月に福祉系の7団体へ合計１０５万円の助成を行いました。

（３）自動車購入費助成

今年度は対象地区を「東日本地区」に設定し、募集いたしました。応募総数は４５件(前回東日本地区５４件)となりました。１０月２９日に開催の選考委員会において、１０団体に対し総額１，０００万円の助成を決定しました。本助成の特徴は、小規模ながら地域に密着した活動を着実に実施しており、他団体から助成を受けにくい団体を特に対象としています。贈呈式は該当の損保ジャパン８支店において開催されました。助成先は別紙を参照下さい。

（４）会議会合・国際交流費助成

会議会合・国際交流費については、5件４５０万円の助成を決定しました。助成先は次の通りです。

①「日本障害フォーラム（ＪＤＦ）」代表　小川　榮一

『国連・障害者の権利条約推進　全国キャンペーンの実施』に関わる会議会合費助成２００万円

②「ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン（WIJ）」代表　斎藤　公生

『２００８ワーカビリティ・インターナショナル世界会議ｉｎ札幌』に関わる会議会合費助成５０万円

③財団法人 現代人形劇センター　理事長　森元　勝人

『全国のろう学校における人形劇による防災教育の実施』に関わる会議会合費助成　５０万円

④社団法人 日本オストミー協会　会長　新井　貢

『第６回アジアオストミー協会大会（ＡＯＡ東京大会２００８）』に関わる会議会合費助成５０万円

⑤特定非営利活動法人 東京高次脳機能障害協議会(TKK)理事長　細見　みゑ

『スウェーデンの脳損傷者福祉事情視察による、今後の日本の高次脳機能障害者支援構築に関する調査研究』に関わる国際交流費助成　１００万円

３．福祉諸科学事業

（１）研究会

本年度は次の通り、３研究会について、株式会社損保ジャパン総合研究所、株式会社損害保険ジャパン文書法務部と連携を緊密にして運営してまいりました。

①ディジーズ・マネジメント政策課題研究会　主査：田中　滋（慶應義塾大学大学院教授）

②ディジーズ・マネジメント・プログラム品質確保研究会

主査：田中　滋（慶應義塾大学大学院教授）

③保険業法に関する研究会　　主査：山下友信（東京大学大学院教授）

（２）刊行物

本年度の財団叢書等の発行は次の通りです。

「第９回損保ジャパン記念財団賞受賞者記念講演録」　財団叢書№．７５の発刊

４．損保ジャパン記念財団賞

（１）平成１９年度受賞者による記念講演会の開催

第９回損保ジャパン記念財団賞受賞者による記念講演会は、７月１３日に過去受賞者を始め、社会福祉の分野で活躍している研究者や学者を講師としたシンポジウムも同時に開催し、約１４０名の参加を得て、虎ノ門パストラルホテルで開催しました。

「損保ジャパン記念財団賞」受賞者記念講演会・シンポジウム

（虎ノ門パストラルホテル）

①損保ジャパン記念財団賞受賞者記念講演会

受賞著書　『障害とは何かーディスアビリティの社会理論に向けてー』

東京大学先端科学技術研究センター特任助教　星加　良司 氏

受賞論文　「小児がんで子どもを亡くした母親の悲嘆過程ー「語り」からみるセルフヘルプ・グループ/サポート・グループへの参加の意味ー」

同志社大学社会学部社会福祉学科講師　金子　絵里乃 氏

②シンポジウム

「新しい社会システム創りにおける障害の位置」

コーディネーター：大橋　謙策氏　　日本社会事業大学学長・

日本社会福祉教育学校連盟会長

パ　ネ　リ　ス　ト：黒田　研二氏　大阪府立大学人間社会学部長・人間社会学研究科長

：田中　英樹氏　早稲田大学人間科学学術院教授・

ｿｰｼｬﾙｹｱｻｰﾋﾞｽ従事者研究協議会事務局長

：星加　良司氏　東京大学先端科学技術研究センター特任助教

：山口　利勝氏　山口福祉文化大学准教授、心理学博士

（２）平成２０年度「損保ジャパン記念財団賞」の実施

平成２０年度の第１０回損保ジャパン記念財団賞は、前年度と同様に指定推薦者からの推薦を９月末で締め切り、最終的に著書部門２２編、論文部門で１５編が推薦されました。

審査委員会は、平成２０年１０月１９日(日)、平成２０年１２月２０日（土)、平成２１年１月２４日（土）の３回にわたり、当財団会議室にて開催されました。１月２４日の最終審査委員会で、

著書部門は　『帝国日本の植民地社会事業政策研究－台湾・朝鮮－』

中京大学現代社会学部教授　大友　昌子　氏

が授賞の候補として推薦され、２月９日開催の臨時理事会で最終決定しました。

なお、論文部門は財団賞候補として推薦されたものはありませんでした。　贈呈式は３月２５日に損害保険ジャパン本社４３階にて開催しました。

表彰内容は以下の通り。著書部門：　賞状　記念品　研究・出版助成金　１００万円

なお、受賞した著書の出版社である株式会社ミネルヴァ書房に対し、感謝状及び記念品を贈呈しました。

「平成２１年度事業計画及び収支予算の件」

〔1〕平成２１年度事業計画

1．社会福祉事業

本年度は基本的には前年度の事業を継続いたします。

（1）ＮＰＯ法人設立資金助成（予算：9,000,000円）

本助成事業は、過去10年、その先駆性･独自性により障がい者福祉系ＮＰＯ法人の設立に大きな役割を果してきましたが、近年の応募状況を考慮し、今年度は９００万円の予算規模で実施いたします。

全国３０団体に対し各３０万円の設立資金助成を行うこととし、実施時期は４月募集とし、贈呈式は７月開催を予定しています。

（2）ＮＰＯ組織強化資金助成（予算：12,000,000円）

前年度に引き続き、福祉系ＮＰＯ団体の「基盤強化資金助成」の事業を実施してまいります。

１団体についての助成額の上限は１００万円とし、対象を全国の当財団助成先とし、

総額1,２００万円の予算を計上いたします。

（3）自動車購入費助成（予算：10,000,000円）

本事業は依然として非常にニーズの高い事業となっていますが、２０年度の東日本地区に続き、本年度は西日本地区を対象とし、ＮＰＯ等の法人化を目指す障がい者福祉団体を中心に助成を実施します。募集時期は９～１０月、贈呈式は１２月開催を予定しています。助成額は、１団体１００万円を限度とし、総額は1，０００万円とします。

（4）会議会合・国際交流費等助成（予算：5,000,000円―下記（５）と合算―）

前年度に引き続き、主として障がい者福祉団体の各種会合の協賛費、国際交流費、加えて、障がい者福祉の啓蒙活動等についても助成します。国連における「障害者の権利条約」が採択され、わが国でも条約の批准に向けての活動が活発化しております。わが国の障がい者団体の基盤強化・活動強化、条約の批准に向けた活動を引き続き支援してまいります。

（5）地域災害等緊急対策助成（予算:5､000､000円―上記（４）と合算―）

本事業では、不幸にして大規模地域災害が発生した場合に、必要に応じ障害者福祉活動団体に対する緊急対策助成を行います。

（6）財団助成活動の海外展開についての調査費（予算：1,000,000円）新規事業

これまで、我が国のＮＰＯの活性化に一定の役割を果たしてきた当財団の経験を活かし、近隣の諸外国においても、社会福祉関連団体の活動がより活性化し、より福祉の増進に寄与するための具体的方策について、調査･研究を進めてまいります。

２．福祉諸科学事業

（１）研究助成（予算：2,000,000円）

前年通り、社会福祉・社会保障・損害保険に関する研究テーマに対し、研究助成を行います。時宜に適した必要性の高い研究で、他の研究助成を受けることが困難なものを対象とし、公募はいたしません。

（２）研究会（予算：7,500,000円－下記（３）と合算－）

①ディジーズ・マネジメント政策課題研究会　主査：田中滋（慶應義塾大学大学院教授）

②保険業法に関する研究会　主査：山下友信（東京大学大学院教授）

③福祉マネジメント研究会（新規事業）主査：大橋謙策（日本社会事業大学学長）

福祉界から、事業経営のできるマネジメント人材の育成・供給強化を訴えられています。そこで、プラクティカルな福祉マネジメント教育の内容とマネージャー人材の養成方法等について研究を進めます。

（３）講演会の開催（予算：4,000,000円－上記（２）と合算－）

時宜に適したテーマを選定し、随時開催します。

（４）刊行物等の発行（予算：3,000,000円）

－研究会の研究成果、講演会・講演録等を中心に、財団叢書を作成します。

－財団活動に関する報告書を作成します。

３．損保ジャパン記念財団賞（予算：10,000,000円）

実施１０年を経過した本事業は、厚生労働省から高い評価を受けると同時に、関係者の間での認知度も高まり、本賞が学術文献に対する社会的評価の一つとして定着しつつあります。本賞の重みが高まる中、関係者・学会等に対する広報活動をさらに強化してまいります。

（１）第１０回受賞者記念講演会の開催

－２０年度受賞者による講演会は、７月１１日に虎ノ門パストラルホテルにて開催を予定しています。

－講演録の作成：講演内容は財団叢書として全国の国公立図書館・主要大学図書館・研究者など配布します。

（２）第１１回「損保ジャパン記念財団賞」の実施

①　賞の内容

著書部門：原則１編

－賞状・記念品・副賞１００万円（研究・出版助成金）

論文部門：原則３編以内

－賞状・記念品・副賞３０万円（研究助成金）

②　対象者

社会福祉分野の研究振興・人材育成のため、将来性が期待できる中堅若手の研究者を対象とします。（原則として大学、研究機関に所属）

③　対象文献

平成２０年４月から平成２１年３月までの間に、国内で発表された社会福祉に関する優れた著書、論文を対象とします。

ただし、次の指定推薦者による推薦を受けた文献に限ります。

日本社会福祉学会役員　　日本地域福祉学会役員

日本社会福祉系学会連合に所属する学会役員

社団法人日本社会福祉教育学校連盟に所属する大学学部長

国立社会保障・人口問題研究所長

その他特別推薦者（上記学会の名誉会員、ジャーナリスト、

出版社編集局長等、財団関係者　など）

④　出版社への感謝状贈呈

著書部門で受賞した著書の出版社に対して感謝状・記念品を贈呈します。

⑤　ホームページへの掲載

損保ジャパン記念財団賞を受賞した著書及び論文については、その要旨を財団ホームページに掲載し公開します。

⑥　贈呈式及び記念講演会の開催

２２年３月に贈呈式を開催、２２年度に入って記念講演会を予定、講演内容は財団叢書として国公立図書館はじめ関係各方面に贈呈します。

〔２〕平成２１年度収支予算

〔１〕の事業計画を実行するための収支予算を下記の通りとします。

平成２１年度収支予算

（平成２１年４月１日から平成22年３月31日）

（単位：円）

科目			21年度予算額	20年度予算額	増減	備考
大科目	中科目					
Ⅰ．事業活動収支の部						
１．事業活動収入						
①基本財産運用収入			11,000,000	10,000,000	1,000,000	
②寄付金収入			79,000,000	83,000,000	△ 4,000,000	
③雑収入		受取利息	400,000	300,000	100,000	
事業活動収入計			90,400,000	93,300,000	△ 2,900,000	
２．事業活動支出						
①事業費	社会福祉事業費		51,620,000	52,282,500	△ 662,500	
		助成金支出	36,000,000	42,000,000	△ 6,000,000	
		諸費用支出	5,000,000	4,000,000	1,000,000	
		役員報酬支出	3,737,500	0	3,737,500	
		職員給与支出	3,087,500	3,087,500	0	
		会合費支出	400,000	500,000	△ 100,000	
		通信費支出	210,000	210,000	0	
		消耗品費支	75,000	75,000	0	
		資産管理費支出	125,000	125,000	0	
		印刷製本費支出	60,000	60,000	0	
		賃借料支出	75,000	125,000	△ 50,000	
		業務委託費支出	2,850,000	2,100,000	750,000	
	福祉諸科学事業費		18,630,000	14,055,000	4,575,000	
		助成金支出	2,000,000	2,000,000	0	
		諸謝金支出	6,500,000	4,500,000	2,000,000	
		刊行物関係支出	3,000,000	3,000,000	0	
		諸費用支出	4,500,000	3,000,000	1,500,000	
		役員報酬支出	1,150,000	0	1,150,000	
		職員給与支出	950,000	950,000	0	
		会合費支出	100,000	125,000	△ 25,000	
		通信費支出	140,000	140,000	0	
		消耗品費支出	75,000	75,000	0	
		資産管理費支出	125,000	125,000	0	
		印刷製本費支出	15,000	15,000	0	
		賃借料支出	75,000	125,000	△ 50,000	
	文献表彰事業費		17,460,000	14,860,000	2,600,000	
		助成金支出	2,500,000	2,500,000	0	
		諸謝金支出	3,000,000	3,000,000	0	
		諸費用支出	4,500,000	4,500,000	0	
		役員報酬支出	2,300,000	0	2,300,000	
		職員給与支出	1,900,000	1,900,000	0	
		会合費支出	700,000	875,000	△ 175,000	
		通信費支出	140,000	140,000	0	
		消耗品費支出	75,000	75,000	0	
		資産管理費支出	125,000	125,000	0	
		印刷製本費支出	150,000	150,000	0	
		賃借料支出	75,000	125,000	△ 50,000	
		業務委託費支出	1,995,000	1,470,000	525,000	
事業費支出計			87,710,000	81,197,500	6,512,500	

科目			21年度予算額	20年度予算額	増減	備考
大科目	中科目					
②管理費	人件費	役員報酬支出	4,312,500	11,500,000	△ 7,187,500	
		職員給与支出	3,562,500	3,562,500	0	
	物件費	会合費支出	800,000	1,000,000	△ 200,000	
		旅費交通費支出	700,000	700,000	0	
		通信費支出	210,000	210,000	0	
		消耗品費支出	75,000	75,000	0	
		図書費支出	300,000	300,000	0	
		備品費支出	100,000	100,000	0	
		資産管理費支出	125,000	125,000	0	
		印刷製本費支出	75,000	75,000	0	
		賃借料支出	75,000	125,000	△ 50,000	
		調査費支出	200,000	200,000	0	
		諸会費支出	900,000	900,000	0	
		雑費支出	1,000,000	1,000,000	0	
		業務委託費支出	855,000	2,130,000	△ 1,275,000	
管理費支出計			13,290,000	22,002,500	△ 8,712,500	
事業活動支出計			101,000,000	103,200,000	△ 2,200,000	
事業活動収支差額(A)			△ 10,600,000	△ 9,900,000	△ 700,000	
Ⅱ. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入			0	0	0	
2. 投資活動支出	退職給与引当預金支出		0	153,000	△ 153,000	
投資活動支出計			0	153,000	△ 153,000	
投資活動収支差額(B)			0	△ 153,000	153,000	
Ⅲ. 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入			0	0	0	
2. 財務活動支出			0	0	0	
Ⅳ. 予備費支出(C)	予備費支出		5,000,000	5,000,000	0	
当期収支差額(A)＋(B)−(C)			△ 15,600,000	△ 15,053,000	△ 547,000	
前期繰越収支差額			35,451,720	43,051,740	△ 7,600,020	
次期繰越収支差額			19,851,720	27,998,740	△ 8,147,020	

(注)1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の
指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 職員給与支出には、法定福利費支出および福利厚生費支出を含む。

〔3〕財団の役員・委員・顧問が選任されました。
任期：平成２１年４月１日～平成２３年３月３１日

1.評議員（五十音順、☆印は新任、肩書きは平成２１年４月１日現在）

☆池田輝彦　（みずほ信託銀行株式会社取締役会長）
石田　満　（法学博士・上智大学名誉教授）
板山賢治　（社会福祉法人万葉の里理事長）
江頭憲治郎（法学博士・早稲田大学大学院法務研究科教授）
大島雄次　（明治安田生命保険相互会社特別顧問）
大塚義治　（日本赤十字社副社長）
大橋謙策　（日本社会事業大学学長・日本社会福祉教育学校連盟会長）
落合誠一　（中央大学法科大学院教授）
數間浩喜　（株式会社損害保険ジャパン取締役専務執行役員）
金澤　理　（法学博士・早稲田大学名誉教授）
上村　一　（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長）

川井　健　（法学博士・一橋大学名誉教授）
倉澤康一郎（法学博士・慶應義塾大学名誉教授）
杉崎重光　（ゴールドマン・サックス証券株式会社副会長）
炭谷　茂　（社会福祉法人恩賜財団済生会理事長）
田村康弘　（株式会社損害保険ジャパンｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ企画部長）
鳥居泰彦　（慶應義塾学事顧問）
西崎哲郎　（ＫＦｉ株式会社会長）
福井光壽　（元社団法人東京都医師会会長）
前田晃伸　（株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役会長）
三好次夫　（前ユニバース開発株式会社代表取締役社長）
吉川弘之　（独立行政法人科学技術振興機構研究開発センター長）
涌井洋治　（日本たばこ産業株式会社取締役会長）

2. 選考委員及び審査委員

（五十音順、☆印は新任、肩書きは平成２１年４月１日現在）

＜1＞社会福祉事業選考委員

安藤雄太（東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー）
板山賢治（社会福祉法人万葉の里理事長）
☆奥野英子（筑波大学特任教授）
関　正雄（株式会社損害保険ジャパン理事ＣＳＲ・環境推進室長）
竹中浩治（財団法人医療関連サービス振興会理事長）
松尾武昌（社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事）

＜2＞福祉諸科学事業選考委員

☆石川秀洋（株式会社損保ジャパン総合研究所取締役社長）
京極高宣（国立社会保障・人口問題研究所所長）
高橋紘士（立教大学教授）
☆塙　昌樹（株式会社損害保険ジャパン経営企画部長）
広井良典（千葉大学教授）
山下友信（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

＜3＞社会福祉学術文献表彰事業審査委員【損保ジャパン記念財団賞審査委員】

岩田正美（日本女子大学教授）
黒田研二（大阪府立大学人間社会学部教授・医学博士）
☆小林良二（東洋大学社会学部教授）
白澤政和（大阪市立大学大学院生活科学研究科教授）
☆髙橋重宏（日本社会福祉学会副会長、東洋大学社会学部教授）
宮武　剛（目白大学大学院生涯福祉研究科・人間学部人間福祉学科教授）

3. **顧問**（五十音順、☆印は新任、肩書きは平成２１年４月１日現在）

☆浅野　仁（関西福祉科学大学社会福祉学部教授）
右田紀久恵(大阪市社会福祉研修・情報センター所長、大阪府立大学名誉教授)
大橋宗夫（元株式会社損保ジャパン総合研究所顧問）
岡　　登（元損保ジャパンひまわり生命保険株式会社副会長）
岡本民夫（同志社大学名誉教授）
杉崎盛一郎（健康険組合連合会顧問）
竹内孝仁（国際医療福祉大学大学院教授・医学博士）
田中　皓（財団法人助成財団センター専務理事）
田端光美（日本女子大学名誉教授）
西江博俊（社団法人日本産業退職者協会理事長）
野﨑辰男（元安田火災海上保険株式会社取締役副社長）
早川克巳（財団法人日本消費者協会顧問）
☆福山和女（ルーテル学院大学大学院研究科長・社会福祉博士）
古川孝順（東洋大学ライフデザイン学部教授・日本社会福祉学会会長）
堀内生太郎（元財団法人安田火災記念財団専務理事）
山崎美貴子（神奈川県立保健福祉大学学長）

4. 理事（五十音順、肩書きは平成２１年４月１日現在）

今井英雄（財団法人損保ジャパン記念財団理事）
鴻　常夫（法学博士・東京大学名誉教授）
金田一郎（財団法人日本社会福祉弘済会理事長、元社会保険庁長官）
佐藤正敏（株式会社損害保険ジャパン取締役社長）
髙宮洋一（財団法人損保ジャパン記念財団専務理事）
西嶋梅治（法学博士・法政大学名誉教授）
古川貞二郎（社会福祉法人恩賜財団母子愛育会理事長、
元内閣官房副長官）
三浦文夫（日本社会事業大学名誉教授）
森嶌昭夫（特定非営利活動法人日本気候政策センター理事長
損害保険料率算出機構理事長）
和田正江（主婦連合会副会長）

5. **監事**（五十音順、肩書きは平成２１年４月１日現在）

斎藤昭一（公認会計士　日本化薬㈱社外監査役）
新里智弘（公認会計士　株式会社パルコ社外取締役監査委員会議長）

６．**理事長・専務理事の選任**

新たに選任された理事の互選により、理事長は佐藤正敏理事、専務理事は髙宮洋一理事が選任されました。

別紙

２００８年度社会福祉助成
ＮＰＯ法人基盤強化資金助成先一覧

ＮＯ.	都道府県	団　　体　　名	助成金額（万円）
1	北海道	特定非営利活動法人　サポートWAYWAYすていしょん	６７
2	東京都	特定非営利活動法人　けやき精神保健福祉会	１００
3	東京都	特定非営利活動法人　風の子会	９７
4	千葉県	特定非営利活動法人　あじさいの会	７６
5	新潟県	特定非営利活動法人　自立生活支援センター新潟	９５
6	静岡県	特定非営利活動法人　けるん	１００
7	愛知県	特定非営利活動法人　エスペランサ	１００
8	大阪府	特定非営利活動法人　寝屋川市民たすけあいの会 地域ケアセンター	１００
9	兵庫県	特定非営利活動法人　陽だまり	１００
１０	岡山県	特定非営利活動法人　ゆうあいファミリーあい	３２
１１	熊本県	特定非営利活動法人　こころみ会	９０

２００８年度社会福祉助成（自動車購入費助成）助成先一覧

	団体名	都道府県
1	特定非営利活動法人　さっぽろこどもさぽーと	北海道
2	ＮＰＯ法人　セラピア	北海道
3	特定非営利活動法人　ヒメコザクラの会	岩手県
4	特定非営利活動法人　つばめっこ	宮城県
5	社会福祉法人　山元町作業所	宮城県
6	特定非営利活動法人　ほっとサポートてんとうむし	埼玉県
7	特定非営利活動法人　耀輝会	千葉県
8	地域作業所　やまのべ会	神奈川県
9	特定非営利活動法人　まいど家	富山県
10	特定非営利活動法人　福祉住環境地域センター	愛知県

平成２０年度
「ＮＰＯ基盤強化資金助成」
首都圏地区贈呈式

（平成２１年１月２８日
損保ジャパン記念財団会議室にて）







各地の贈呈式の様子



エスペランサ（愛知）



こころみ会（熊本）



陽だまり（兵庫）